



長谷川昌男（はせがわ まさお）氏

1953年5月4日生まれ（64歳）、神奈川県出身。神奈川大学経済学部貿易学科卒、1977年4月日榮住宅資材㈱（現ナイス㈱）入社。2005年7月住宅事業本部受託営業部長、2006年4月住宅事業本部仲介営業部長、2007年10月住宅事業本部執行役員商品企画部長などを経て、2012年6月ナイス㈱取締役、ナイスコミュニケーションズ㈱取締役。2015年6月からナイスコミュニケーションズ㈱代表取締役社長（現任）、ナイスコミュニケーションズサービス㈱代表取締役社長（同）、ナイスリフォームプラザ㈱代表取締役社長（同）。

**社内で人材を育成し
高齢化へのサポートを進め
選ばれる管理会社を目指す**

越高齢社会を迎えた中で増加続けるマンションストック 建物と入居者の高齢化が進み 修繕施工を含めたマンション管理業務の重要性はますます高まっている。このコーナーではトップインタビューを通じてマンション管理の未来を追う。第5回目はナイスコミュニケーションズの長谷川昌男社長に、マンション管理業界の現状と課題、業界の見通しなどについて聞いた。

マンション管理の未来

第5回

居住者とのコミュニケーション構築へ全戸訪問

プレース物件も増えていく。コミュニケーションがどこに避難したか把握できず、修繕するにも決議ができず大変だった。プレースが

介護の専門家としてマンション管理へ

心を示してもう見える。管理有資格者がいるので、講師は全員認知症サポートーになつてもらい人材を養成する資格を持つており、知識の資格を持つことで、素早い対応ができる。延長する企業が増え、60歳で企業を退職した人材を延長する企業が増え、60歳で企業を退職した人材を保するのは難しい。ただ、社では定年制を設けておらず、80歳以上の管理員も

——大規模修繕工事の受注見通しは、
長谷川氏 前期の売上高
前半、大手サブコロのほ
り、今後さらに規模は拡大
するだろう。 マンション管理業の社会的
的な評価がまだ低いので、
平価で高利回りとされています。

売買・賃貸のタイミングで営業担当者がリニューアル提案

——管理に関するメニュー
ーを増やしていくのか。 長谷川氏 物件の仲介や リフォーム、管理をランス トップで行う対応を始めて いる。お客様の相談窓口と

の改善が必要だ。管理員の仕事を担いながら訪問介護の要望があれば対応できる別化を図ることもだが、管理の質向上させることに、もなる。有資格者の管理員の質はどう向上させるか、いう点に真剣に取り組んではならない生き残れない